

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひよこ教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月26日		～ 令和8年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 17名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和8年2月6日		～ 令和8年 2月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		
○ 分析結果			
	事業所の強み（※）だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・母子通園なので、常日頃から子育ての悩み等に対する相談や保護者同士の交流ができる。	・定期的に保護者研修と保護者同士の交流を兼ねて「ひよこ子育てカフェ」を開催しています。	・現在の「ひよこ子育てカフェ」は、研修の色彩がまだ強いので、もう少し保護者同士の交流が深
2	・大きな集会室があったり、散歩コースが充実していたりして、施設内や地域環境が良い	・遊具は常に片付けてあり、必要な時に取り出して使うようにしています。	・必要な遊具道具類を選定し、お子さんたちのニーズに合ったものを準備していく。
3	・プログラムを固定化しないように工夫をしている	・お子さんたちの興味を引き付けられるような活動を実施し、毎月新しい活動を取り入れています。	・お子さんに適した多様な活動を提供できるように、情報収集に努めていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・作りが古いために、トイレなどの水回りは冬場なると寒さを感じるところが多いように感じます。	・建物の老朽化により、こういった事態になっていると思われま	・急を要する場合には、応急的な対応を行います
2			が、どのような対応がふさわしいのか検討を重ねていきたいと思
3			います。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表日： 令和8年2月20日

事業所名： ひよこ教室

保護者等数（児童数）： 17名／回答数15名／回答率88.2%

	チェック項目	はい	どちらとも		わからない	合計	ご意見
			いえない	いいえ			
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15				15	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15				15	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配置が適切になされているか	14			1	15	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15				14	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15				15	
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15				15	
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15				15	体を使うあそびを子どもが毎回楽しみにしています。
保護者への説明等	8 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15				15	
	9 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15				15	
	10 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1			15	
	11 研修会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	10	3		2	15	
	12 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15				14	
	13 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				15	
	14 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2		4	15	
15 個人情報に十分注意しているか	14			1	15		
非常時等の対応	16 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14			1	15	
	17 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15				15	
満足度	18 子どもは通所を楽しみにしているか	15				15	いつも楽しみに通所させていただいています。最後にやるプラズマカーが大好きで、それを楽しみに頑張っているようです。
	19 事業所の支援に満足しているか	15				15	成長を感じられ感謝しております。常に相談に乗ってもらえて、とても安心して通えています。

【改善事項】

11	研修会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	・今年度も保護者研修会と保護者同士の交流を含めた「子育てひよこカフェ」を5回開催いたしました。今後とも会の運営内容に工夫を重ね、保護者同士の交流や連携が図れるように改善してまいります。
13	ホームページ等で、活動概要や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	・ホームページの周知を図りながら、活動概要や様々な情報を子どもや保護者に発信、あるいは閲覧できるように資料等を作成します。
16	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	今後も、周知徹底を継続してまいります。この一年間、皆様方からはご協力を頂きまして誠にありがとうございました。おかげさまで、大過なく無事に運営できましたこと心より感謝申し上げます。今後とも安全・安心な運営に努めてまいりますので宜しくお願いいたします。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ひよこ教室（児童発達支援）		公表日		令和8年 2月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・療育内容や子どもの状況に応じて、全職員でフォローする体制を作っています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・トイレや廊下、階段には手すりを設置しています。また、廊下の掲示板にお知らせや地域の情報を掲示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・利用後、清掃・消毒、安全確認を行っております。定期的にチェックシートで危険箇所などの安全確認を実施しています。	・施設の老朽化に伴い、冬場に廊下やトイレ等寒くなることもあるため対策を考えていきたいと思っております。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・療育内容によって、パーテーションを用いる等の配慮をし、必要に応じて個別対応を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・定期的に職員会議を実施し、業務改善に向けた話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者アンケートでご意見だけでなく、玄関にご意見箱の設置も行っています。また、面談などを通して、保護者が意見を伝えやすい雰囲気づくりに配慮しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・職員会議等で意見を出し合い、改善しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	・毎年山形市より評価を受け、日々のサービス提供、業務改善につなげています。また、アンケート結果や否否等があった場合は第三者委員に報告しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・定期的に職員研修を行っており、外部研修にも積極的に参加できるように計画を立てて、取り組んでいます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・職員で検討して作成し、ホームページに公開しました。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・相談支援専門員との連携を図り、子どもや保護者の面談を通して得られたニーズを分析し、児童発達支援計画の作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・担当指導員、保育士、児童発達支援管理責任者を中心に、職員全員で分析、検討し作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・子ども一人ひとりの児童発達支援計画に基づき、職員、ご家族で共通理解を図り、支援を行っています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・教室で統一したアセスメントツールを活用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・児童発達支援計画検討会議では、児童発達支援管理責任者を中心として、児童発達支援ガイドラインに示してある項目を確認しながら、実施しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・季節の行事等も取り入れながら子どもたちが興味を持って、参加しやすいプログラムとなるように工夫しています。	・利用回数や利用歴の長いお子さんに対しては新しい活動を提示したいとは思いますが、新しい活動に不安を感じるお子さんがいるので、そのバランスが課題と感じています。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・相談支援専門員との連携やアセスメントツールを活用し、児童発達支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・欠席確認、療育内容、支援の流れ、職員の役割分担の確認を行い、情報の共通理解を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・終礼にて、その日の支援の振り返りや連絡事項等の確認を行っています。また、職員でのミーティングを実施し支援の記録を残しています。	・日によっては時間がとりにくいことがあります

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・児童発達支援計画に基づき、支援を記録しています。また、できるようになったこと、新しい子どもの姿が見られた際にも記録するようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・モニタリングでは、子どもと保護者の面談を通して、支援の達成度や満足度などの把握を行い、支援の方向性の確認を行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者が出席し、情報の共有を図っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・必要に応じて、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校等との情報共有と相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	・必要に応じて担当者会議を開催、出席しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	・併設の児童発達支援センターと連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受けています。		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・施設外活動では、近隣をお散歩するなどして、地域住民との交流を図る機会を取り入れています。	・週に1回、主に親子通園というスタイルでの交流に難しさを感じています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時に子どもの様子をお伝えしております。その他、必要に応じて子どもの状況、課題について共通理解を図り、具体的な対応について一緒に考えています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・公認心理師を招いて、子どもの発達等に関する研修を年4回開催しています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・利用契約の際に、契約書、重要事項説明書の説明を行っています。また、変更があった場合は、文書にてお伝えしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・日々、保護者が安心して家庭での育児に取り組むことができるよう、必要に応じて助言・支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	・母子通園のため、常日頃から保護者同士で交流しています。	・保護会、父母の会としては組織しておりません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・契約時に相談・苦情受付窓口、担当者、第三者委員を設置していることをお伝えしています。そして、対応にはマニュアルを設けており、職員で共通理解を図りながら対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3	・不定期に「風の子だより」を発行し、療育内容を発信しています	・プライバシー、個人情報の保護を考慮するとHPやSNSでの発信の難しさを感じています。慎重に検討してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報保護規程に基づいて、プライバシーの配慮等、職員への周知を図っています。また、契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・絵・写真カードを用いたり、モデルを示したりと視覚的アプローチを中心に支援を行っています。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・毎年一回、地域との交流行事として、地区社協や地区団体等からご協力をいただき、おまつりを開催しています。沢山のボランティアからもご協力いただき、多くの方に来ていただいています。		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルを整備し、研修を通して、職員への周知を図っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年2回以上、避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・利用前の聞き取りの際に、子どもの疾病や服薬状況を把握しています。また、緊急連絡先やその後の対応についても保護者と確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・保護者より食物アレルギーの聞き取りを行い、必要なお子さんには、医師の指導の下、栄養士と毎月の献立の打ち合わせをしています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	終礼や毎月の職員会議でヒヤリハット事例を報告して共通理解を図っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	外部講師による研修会を定期的の実施しています。園に権利擁護委員を配置して理解啓発を促しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	6	現在、身体拘束を行っていません。やむを得ず実施する場合は、適切に対応できるようマニュアルを整備します。	